真っ赤に燃えた 千代の夏フェス

第三回千代野外音楽祭

第三回となる「千代野外音楽祭」が、八月二十七日（日）に開催された。昨年に引き続き司会には千代ふるさと大使の関口郷子さんを迎え、晴天の中始まった。

第一部では、若者を中心としたバンド演奏が繰り広げられた。会場のまわりには地元の方々により屋台が並び多くの観客が行きかっていた。

そして第二部の開幕。エンターテイメント演奏、和太鼓演奏などハイレベルな舞台が続いた。

今年のメインゲストである「スター錦野旦」さんの出番が近づくにつれ、会場には溢れんばかりの観客が集まり、スターの登場で会場が最高潮に達した。最後は花火乱舞で「千代野外音楽祭」の幕を閉じた。

スター錦野旦と子供たち

館報 千代
第294号
発行
千代公民館
編集
広報委員会
印刷
龍共印刷株式会社

＜千代の人口＞
平成29年８月末日現在
男　815名（－６）
女　883名（－６）
合計　1,698名（－12）

にんぎょうげきたろうきぼたる

千栄小五年　清水康生（こうせい）

八月二日（水）に人形劇を見ました。ぼくの知っている「はやたろう伝説」とは結構違っておもしろい劇でした。はやたろうが小さい時から育っていく話で、子供のはやたろう、大人のはやたろう、霊犬はやたろうの三匹の人形が出てきました。それで、子供のはやたろうがものすごくクオリティーが高くてすごかったです。

後から出てきた霊犬はやたろうは、毛がフサフサですごいと思いました。出てきた人形すべてがものすごく良くできていて、人形を動かしてみたいと思いました。

初めて会場スタッフボランティアを経験して

千栄小五年　知念希花（ののか）

私は、家にあった広告で人形劇フェスタボランティアを募集しているのを知ったので、お母さんに相談してみたら、「良い経験になるから、やってみると良いよ。」と勧めてくれたので、初めてボランティアをすることにしました。八月四日（金）、ボランティアのメンバーは、みんな小学生で、私が一番年上だったので、みんなをまとめようと、頑張りました。知っている人やお年寄りの方から、「がんばってね」と言われて、とてもうれしかったです。来年も妹をさそって、またボランティアをしたいと思います。

千代っ子☆フォーティーン「干支の始まり」

千代っ子☆フォーティーン

千代小三年　かとうひなた

人形劇フェスタに千代小学校の三年生で出ました。お話は、「十二しの始まり」です。ぼくは、その中のトラのやくをやりました。

夏休み前からみんなでたくさん練習しました。岩いだ先生に、人形劇をする台からかおが見えてはいけないと教えてもらい、みんなで気をつけて練習しました。ぼくは、声が大きくてほめられました。もともとトラは、大きな声だからやりやすかったです。

本番は、おきゃくさんがいっぱいいてこわかったです。でも、がんばってやりました。たくさんはく手してもらえてうれしかったです。

人形劇フェスタに参加して

竜東中三年　小島彩愛（あやめ）

文芸部は三年生三人、一年生六人の計九人で活動をしています。主な活動は、発声練習、人形作り、台本作りなどです。一人一人が個性のある役になりきれるよう、練習に取り組んでいます。去年は二人での活動でしたが今年は部員が増え「白雪姫」という演目で人形劇フェスタに参加することが出来ました。緊張しましたがセリフも間違えることなくしっかり気持ちが伝わるように劇が出来たのでよかったです。ありがとうございました。

いいだ人形劇フェスタ in 法山振興センター

去る八月四日（金）に二組の人形劇団を迎え、法山振興センター会場で午後七時より公演が始まった。

会場の最前列に陣取った多くの子供たちの目は、開演前から輝き、それを見る親御さんも嬉しそうで微笑ましかった。

最初に登場したのは、人形劇チーム「青空共和国」の山崎さん。実はこの方、二十九年前の法山振興センター初回公演に出演されており、当時を懐かしみながら公演がスタートした。

演目は「いのきちくんとまぼろしのお花ばたけ」で、いのししの「いのきち」がキャンピングカーで旅をする中で、多くの動物たちと出会い最後まぼろしのお花ばたけを見つけるという劇で、遠近を人形の大きさで表して観客を驚かせた。

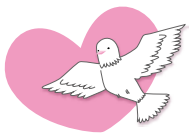
次に登場したのは、人形劇団「くじら」の小谷さんで、演目は「変身人形ペーターとハイジ」でハイジがペーターを探し、子供たちの中を歩き回り、会場を巻き込んだ劇で子供たちの元気な声が響いた。最後はまるで漫才のような腹話術で爆笑の中、幕を閉じた。

イナズマ

日本の上空を兵器が通過する日が来るなど、予想だにしていなかった。

八月某日、異国で打ち上げられたミサイルが日本の上空を通過した。戦争を直接知らない私たちにとってそれは大変衝撃的な出来事であった。早朝より広報が鳴り、落下等に対する警戒を呼び掛けていたが、何を言っているのかは頭の中ではすぐ理解できず戸惑いと恐怖を感じた。それから少しして、警報が鳴り止み、ミサイルの通過の情報が流れた。ほっとした気持ちで、しかしまだドキドキしながら、出勤へと向かい、いつも通りの準備をした。その日常的な工程の中で、非日常的な気持ちを噛みしめていた。

出勤する車の中で、頭の中を整理しながら「日常」を考えた。忙（せわ）しない日々の中であまり気にも留めていられない自分や誰かの感情、小さな出来事。安心しきって必ず明日が来ると思っていた毎日。すべてを振り返り、自分に活をいれた。何が起こるかわからない毎日の中で、やりたいこと、会いたい人、話したいこと、その全てを大切にしたいと。誰かと感情をぶつけあうことも大切なのだと。今を精一杯生きることが一番なのかもしれないと感じた。



第13回 千栄こども夏祭り

千栄小六年　藤本　咲来（さくら）

七月十五日に子ども夏祭りがありました。最初におみこしをかつぎました。はずかしい気持ちもありましたが、みんなで楽しい夏祭りにしようと思いかつぎました。

次に私たち六年生が開会宣言をしました。どんな風にするか考えを出し合い人気のある芸人のマネをしようとみんなで考えました。ネタもいれて台本を作り当日まで練習をしました。本番ではきんちょうして声がおかしくなると心配しましたが、無事にできました。

夜店では、先生達が作ってくれるかき氷、ＰＴＡの方が作ってくれる焼そばや焼き鳥など、どれも本当においしかったです。

最後の一人一人のメッセージ花火は、色あざやかで空いっぱいに広がってとてもきれいでした。地域のみなさんの協力のおかげでこんなに楽しい夏祭りができました。ありがとうございました。

映画『うまれる』上映会

九月九日（土）、千代公民館で映画の上映会が行われた。保育園の澤田園長さんから、「子育てで忙しい人達にも時間をつくって、ぜひ見て頂きたいと思い企画しました。」とあいさつがあり上映は始まった。

映画は、出産にまつわる四組の夫婦の物語を通して自分達が生まれてきた意味、命の大切さ、そして「生きる」ことを考えるドキュメンタリー映画。

会場は小学校、保育園の子供をもつ親を中心に、六十人程が集まった。その中には十人前後の子供達もいたが、二時間近い映画の上映中、話をしたりうごきまわったりする子供は一人もおらず、じっとスクリーンを見入っていた。

映画が終わって、会場を後にする人の中からは〝感動した〟〝観に来て良かった〟との声が多く聞かれた。

この作品はＤＶＤ販売・レンタルの予定は無く、自主的な上映会のみで見ることができるようになっている。他にも「家族の絆」に焦点をあてた作品も制作されており、より多くの人に観てもらえる様、次回の開催が期待される。

竜東の集いで感じたこと

竜東中三年　小木曽　智哉（ともや）

僕は竜東の集いで感じたことが、いくつかあります。

一つ目は、地域のみなさんの学校や竜東地区に対する思いです。全体会の伊藤さんのお話しや、分散会での地域の方のお話や意見を聞いていて、この地域のことを深く考えてくださっていることが、ひしひしと伝わってきました。

二つ目は、この竜東地区の良さです。そう思った理由は二つあります。

一つ目は、自然が豊かなことです。自然が豊かだと心が豊かになり、年代を越えてふれあえると思います。

二つ目は、地域の人の温かさです。竜東の集いに参加してくれたことや、子供や学校のことを考えてくれている地域の方々は本当に温かいと感じました。

竜東の集いを通して、改めて竜東地区の良さ、地域の人の温かさを感じることができて、よかったです。

こどもつり大会

下伊那漁業協同組合　榊山博敏

七月二十九日（土）こどもつり大会が、野池親水公園で、下伊那漁協千代支部主催、まちづくり委員会、青少年育成委員会の協賛で朝八時から行われました。

昨年よりも三十名ほど多い、一〇〇人以上の参加となりました。

牧野飯田市長の挨拶の後に、つり大会が始まり、二ヶ所の池に釣り糸が垂らされると、こどもたちに大きな歓声があがっていました。

本年度から、よこねたんぼのオーナーの方の参加もあり、保育園児、小学生、組合員と合わせて、多くの人たちで楽しむ事ができました。

9/10 万古渓谷会 視察研修

副会長　清水洋平

万古渓谷会では、今年新たに「キャニオニング部」を発足し、遊びの中からノウハウを学ぶため視察先は、岐阜県下呂温泉の先「ＮＰＯ法人飛騨小坂二〇〇滝」で開催されている「小坂（おさか）なシャワークライミング」に決定。ビジターセンターと呼ばれる集合場所は「道の駅はなもも」に併設されていました。受付を済ませ、簡単なレクチャーを受け人生初のウェットスーツに着替えます。ビジターセンターからツアーを行う場所まで車で五分、万古渓谷からは考えられないアクセスの良さです。さぁツアー開始！普段沢渡りでは自分から水に濡れに行く事はありませんが、シャワークライミングでは最初から水に浸かります。ライフジャケットを着ているため水深の深い場所では浮きます。この感覚、気持ちいい！初体験です。ツアーの行程五〇〇ｍに滝、淵が数多く存在し飽きさせません。二人のガイドさんの連携がよく、サクサクと進みますが童心に帰った僕達は…続きはキャニ部で！

飯田りんごん

八月五日（土）に天候にも恵まれ、第三十六回飯田りんごんが開催され、今年も「千代連」として参加した。

牧野飯田市長のかけ声で一斉にスタートし、それぞれの団体が特徴ある踊りを披露し熱気が伝わってきた。その中で「千代連」は統制がとれた素晴らしい踊りで練り歩いた。

残念ながら今年は受賞こそできなかったが、受賞チームにひけをとらない出来であった。

一人三匹まで竹串に通した魚を、その場で美味しそうに食べる人、持ち帰るように新聞に包む人とさまざまでした。

保育園児、小学生は無料ですので是非来年も多くの参加をしてもらって、この事業が千代の良き思い出になるよう続けていきたいと思いました。

告知板

○十月一日（日）九時
よこね稲刈体験・収穫祭

○十月十五日（日）八時半
千代地区市民運動会

○十一月三日（金）
千代峠交流会

○十一月十九日（日）九時
千代地区文化祭in千栄小

○十一月二十六日(日)九時
ふるさと講演会
公民館一斉清掃

戸籍の窓

○かなしみ
澤柳タマキ　九十六才
勝夫　長男（米峰）
井澤　巧　九十四才
逸男　長男（下村）